

海外安全対策情報
2019年7月～9月

在オークランド総領事館

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) テロ関係

2019年3月15日、クライストチャーチにある2カ所のモスクでイスラム教徒をターゲットとした無差別乱射事件があり、51人が亡くなりました。犯人として白人至上主義を唱える豪州国籍の男性が逮捕され、この事件を受けてNZ政府は武器の規制強化に乗り出しました。ニュージーランドも他国と同様テロの危険から免れられないというのがニュージーランド政府の見解です。NZ首相府は、「当国もイデオロギー、政治又は宗教上の過激思想を有する個人や小グループにより、攻撃される可能性は否めませんが、団結した強い社会を築き上げることが、テロに対する最大の防衛策となる」と述べています。

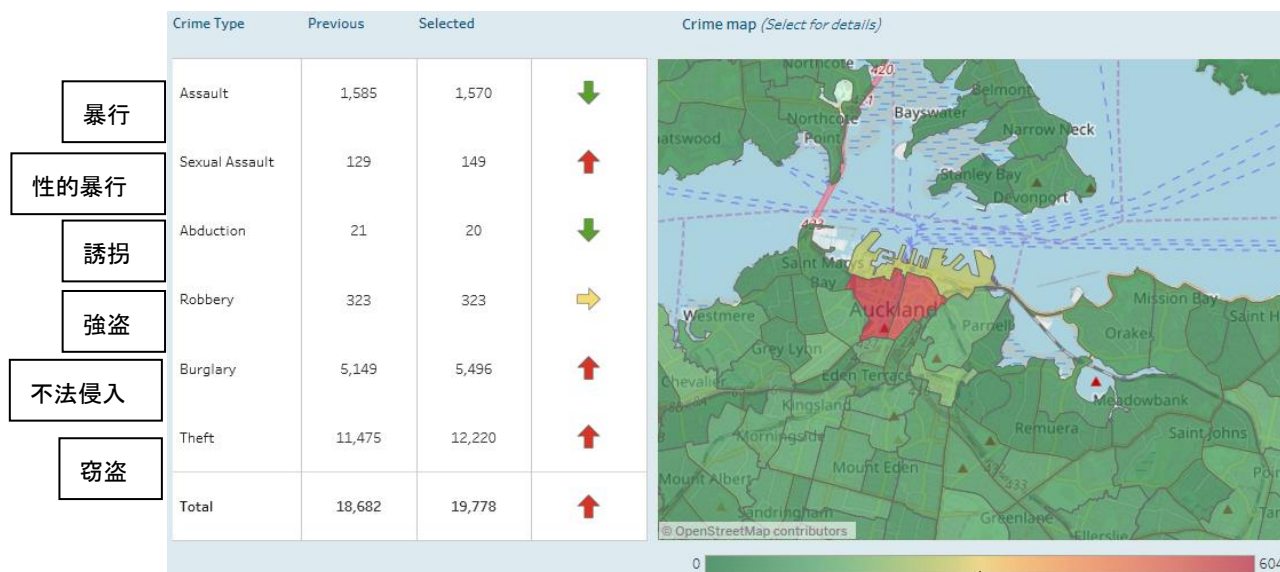
(2) 一般治安関係

NZでは強盗や侵入窃盗、車上狙いや繁華街での暴行事件が多く発生しています。そのため防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織メンバー同士の抗争も発生しているため、繁華街等では、争いに巻き込まれることのないよう特に注意してください。

このほかNZ国内では、薬物汚染が社会問題化しており、NZ政府は治安対策強化のため1,800名の警察職員を増員し、組織犯罪対策や各種犯罪の対策を行っています。

(3) オークランドの犯罪傾向

2019年7月～同9月のオークランド市の犯罪傾向についてオークランド警察は次の通り発表しています。



注：表の中の Previous と記された件数は、昨年同時期の事件件数です。

2 ニュージーランドのテロ脅威度

現在、ニュージーランドのテロ脅威度は中間レベル(Medium)で、クライストチャーチのモスク襲撃事件後、一段階上昇しています。

New Zealand's Threat Levels	
Threat level	Definition
Negligible	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as very unlikely.
Very Low	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as unlikely.
Low	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as possible, but is not expected.
Medium	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as feasible and could well occur.
High	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as very likely.
Extreme	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is expected imminently.

3 ニュージーランド警察からの発表

警察は2019年8月31日付で過去一年の全国の犯罪被害件数を268,074件と発表、昨年度と比較すると2.9%(+7,553件)増加しています。被害件数の77%は窃盗、不法侵入で締められており、なかでも不法侵入の75%は住宅を狙った犯行で、ほとんどが午後早い時間に起きています。

4 当地の主な事件・事故

(1) 詐欺事件

- 警察或いは Spark 通信会社だと名乗る者から、「あなたのインターネットに問題があり、個人情報漏えいの可能性があるので、Police Cyber Crime Unitにつなぐ」と

電話がかかり、その後警察を名乗る者から、「詐欺の犯人を捕まえるために罠を仕掛けるので、指示するオークランドの住所、または指定する銀行口座（スペイン・日本・豪州の海外口座）に入金してほしい」と指示される。何万ドルもの損失を被った被害者が多数出ており、28歳の女性と26歳の男性が逮捕された。警察は、電話では決して個人情報伝えず、不審な電話がかかってきた場合には、すぐ電話を切るようアドバイスしている。

- 企業のメールアドレスを傍受して、偽の請求書を送りつける手口の詐欺が増えている。偽のメールで取引先に銀行口座変更を通知し、多額の金額を犯人の口座に振り込むよう案内するもの。ニュージーランドでは、インターネット詐欺の手口として、フィッシングと呼ばれるウェブ偽装詐欺や、押し売りウイルス（パソコン内のデータを勝手に暗号化、元のデータを削除し、復元ソフトを買わせる）があるが、それらに次いで横行している。

（２）南オークランドの発砲事件

7月6日にClover Parkで起きた事件では、女性が重傷を負った。本年3月以降、南オークランドでは、銃発砲事件が6件あり、4人が亡くなっている。

（３）薬物犯罪

NZでは覚醒剤（主にメタンフェタミン）の乱用が深刻化しており、警察は麻薬犯罪を厳しく取り締まっている。7月～9月の間に報道された主な薬物取り締まりは次の通り。

- 7月25日、Bay of Plentyで、武器及び大麻不法所持およびメタンフェタミン吸引用具所持の容疑で34歳の女性を含む5人が逮捕された。
- 8月7日、オークランド、カンタベリー、サウスランドで、警官150名を動員して捜索が行われ、10人が逮捕、末端価格NZ\$12 millionのメタンフェタミンや高級車、現金が押収された。
- 8月15日ロトルアで60キロ以上（末端価格NZ\$36 million）のメタンフェタミンが押収され、42歳の男性が逮捕された。
- 8月中旬、オークランド港でタイから到着した荷物の中に469キロのメタンフェタミンを発見。数か月前から税関はNZに拠点を置く会社と犯罪シンジケートとのつながりを捜査しており、タイから輸入された60基のモーターの中から見つかったメタンフェタミンは、末端価格NZ\$235 millionに相当する。
- 9月にワイカト地方で200キロ以上、末端価格NZ\$86.4 millionのメタンフェタミンが押収された。

（４）キャンプ場で観光客銃撃

8月16日 Raglan のキャンプ場に駐車していたバンに向けて何者かが発砲し、バンを盗んで逃走。車内にいたオーストラリア人男性観光客が死体で発見されたものの、一緒にいたカナダ人女性は難を逃れた。犯人は既に逮捕済。

（５）幼児虐待

7月18日 Bay of Plenty で2歳の女児殺人の容疑で37歳の男性が逮捕されたのをはじめ、8月22日 Whangarei で生後五か月の男児が死亡。28歳の同居男性が逮捕されている。

（６）オークランド市中での暴行事件

- 9月20日午後4時頃 Mount Roskill の New World スーパー駐車場で17歳の女性が無理やり車に押し込まれ、Roseman Avenue まで連れて行かれ、性的暴行の被害を受けた。9月22日にも Blockhouse Bay で29歳の女性が襲われ、警察は同一犯による犯行として62歳の Murray Edward Thomas Robertson を逮捕した。
- 9月21日市内中心部 Elliot Street で数人の女性に暴力を働いた35歳男性が逮捕された。同日1:30pm~3pmの間に12件の苦情が寄せられたが、幸いにも犠牲者にはほとんど怪我はなかった。

5 日本人が巻き込まれた案件

【場 所】 ロトルア 自宅

【被害者】 日本人女性（20代）

鍵がかかっていない窓から侵入、テーブルに置いてあった財布、バッグ等を盗まれた。パスポートその他が被害に。

【場 所】 マウント・ウェリントン 自宅

【被害者】 日本人男性（50代）

犯人はドアを破壊して侵入、先に帰宅した家主が空き巣の被害に遭ったことを発見。パスポート、クレジットカード等が盗まれた。

【場 所】 パーネル 路上

【被害者】 日本人男性（20代）

車の窓ガラスが割られ、車内に置いていた鞆を盗まれた。被害はパスポート他。

【場 所】 ハミルトン・ガーデンズ 駐車場

【被害者】 日本人女性3名（40代、50代）

5人で観光中、車上荒らしに遭い、3人分のパスポート、財布、クレジットカード、現金、鍵を含む貴重品が被害に遭った。

【場 所】 オークランド市内 パブ

【被害者】 日本人女性（１０代）

トイレに行った際にバッグを席に置いたままにして離席。パスポートが抜き取られていた。

以上